

<ヨーロッパ>

<イギリス>

<アメリカ>

<オーストラレーシア>

マッハ, E.

フレーゲ, G.

ラッセル, B.

プラグマティズム第一世代
 パース, C.S.
 ジェームズ, W.
 デューイ, J.
 ミード, G.H.

批判的実在論
 ラヴジョイ, A.
 サンタヤナ, G.
 セラーズ, R.W.

ポーランド学派
 トヴァルドフスキ, K.
 ウカシェヴィチ, J.
 レシニェフスキ, S.

ウイトゲンシュタイン, L.
 (前期) (後期)

ムーア, G.E.

タルスキ, A.

エイヤー, A.J.
 ポパー, K.

日常言語学派
 ライル, G.
 オースティン, J.L.

論理実証主義
 カルナップ, R.
 シュリック, M.
 ノイラート, O.
 ライヘンバッハ, H.

ギーチ, P.

ウイトゲンシュタインの弟子
 アンスコム, G.E.M.
 フォン・ウリクト, G.H.
 マルカム, N.
 ウィンチ, P.
 トゥールミン, G.

プラグマティズム第二世代以降
 ルイス, C.I.
 クワイン, W.V.
 グッドマン, N.
 セラーズ, W.
 パトナム, H.
 ローティ, R.

オーストラリア哲学
 アームストロング, D.
 スマート, J.J.C.
 マーチン, C.B.
 ジャクソン, F.
 パーゲッター, R.
 ブライア, E.

フィンランド学派
 ヒンティッカ, J.
 ヒルピネン, R.
 トゥオメラ, R.

ダメット, M. ストロートン, P.F.

会話の理論
 サール, J.
 グライス, P.

チザム, R.M.

ニュージーランドの論理学者
 ブライア, A.
 クレスウェル, M.J.

ライト, C.
 マッギン, C.

様相論理・可能世界論
 クリプキ, S.
 バルカン, R.
 モンタギュー, R.
 カプラン, D.

クワインの生徒
 デイヴィッドソン, D.
 ストラウド, B.
 ルイス, D.
 パーソンズ, C.
 ハーマン, G.
 デネット, D.C.

形而上学
 ブランティンガ, A.
 トゥーリー, M.
 ヴァン・インワーゲン, P.
 サイダー, T.
 ジーマーマン, D.
 メリックス, T.

オックスフォードの文章の難しい人たち
 ウィギンズ, D.
 マクダウェル, J.
 エヴァンス, G.
 ピーコック, C.

論理学の哲学・数学の哲学
 チャーチ, A. ベナセラフ, P.
 ブーロス, G. フィールド, H.
 エチェメンディ, J.

心の哲学
 キム, J.
 フォーダー, J.A.
 ブロック, N.
 シュ・メーカー, S.
 チャルマーズ, D.

認識論・知識論
 ゲティア, E.
 ドレツキ, F.
 ゴールドマン, A.I.
 ノージック, R.
 スティッチ, S.

ネーゲル, T.

科学哲学
 クーーン, T.
 ファイヤーマント, P.
 ラカトシュ, I.
 ラウダン, L.
 カートライト, N.

心理学の哲学・認知科学
 チャーニアク, C.
 ミリカン, R.G.

チャーチランド, P.
 パージ, T.
 ライカン, W.

メタ倫理学
 ヘアー, R.M.
 ブラックバーン, S.

法哲学・政治哲学
 ハート, H.L.A.
 ドゥオーキン, R.

規範倫理学
 セン, A.
 ロールズ, R.
 ノージック, R.
 マッキンタイア, A.
 ウィリアムズ, B.

- ・実線のつながりは、師弟関係や影響関係、その他の重要な関係を表す。
- ・実線のくくりは、学派や地域によるまとまりを表す。
- ・破線のつながりおよびくくりは、分野やテーマの共有を表す。
- ・ヨーロッパ、イギリス、アメリカ、オーストラリアという分類は、実線に対してのみ意味をもつ。
- ・おおむね下に行くほど新しいが、そうでない部分も多い。